

人口と世帯数
男 5,817人
女 6,068人
計 11,885人
世帯数 2,689
49. 11. 1現在



編集 国見町役場  
発行

昭和49年11月15日

No. 17



### 鹿島神社で

七・五・三

十五日は「七五三」のお祝いで  
 数え年で三歳と五歳の男の子  
 三歳と七歳の女の子のお祝いをす  
 る日で、もとの意味は、幼児が無  
 事に成長して一つの段階を経過し  
 たことを喜び、このことを公表し  
 て親類縁者とともに祝う儀式でし  
 た。

一般的には、生後発育が心配さ  
 れた子どもが、よくここまで育っ  
 てくれたと思う親心と、今後もど  
 うか丈夫でよい子になってくれる  
 ようにと願う気持が、江戸時代か  
 ら伝えられたものです。この行事  
 のおこりは、五代將軍徳川綱吉の  
 子、徳松の祝いが始まりだといわ  
 れています。

伊達の五町をつなぐ

# 広域農道を建設

## 五十年から五力年間で

県営による国見町、桑折町、伊達町、保原町、梁川町の五町にまたがる広域農道が建設されることになっておりましたがこのほどその概要が決定されました。

広域農道は広域営農団地を育成し地域の開発をはかり広域的かつ近代的な農業を確立し、産業開発を促進させるため建設するもので

このため現在五町による広域営農促進協議会を結成し事業を進めておりますがその主な事業内容は次のとおりです。

- 市員 八メートル
- 道路(舗装)延長 一万六千メートル(内町内分三千八百メートル)



広域農道路線図

- 橋梁延長 二ヶ所、六百メートル(内町内分一ヶ所、三百メートル)
- 事業年度 昭和五十年年度から五力年の継続事業(予定)
- 事業費 二十四億円

この事業費の財源内訳は国が六五%、県が二一・六七%、地元負担が一三・三三%となっております。

### ■町内の路線

大字徳江字高川原(梁川町との境)より上水道水源地西側の阿武隈川を横断し、徳江観音寺東方でカーブし西方に向かって一直線にオガライト工場前(南)に至る。この地点で桑折町へ結び、この地点で桑折町へ結びのと公立藤田総合病院前を通過する高速自動車道に通じる取付県道に連絡することになります。

## 林道小畑線の延長工事に着工

### 林道開設事業小畑線林道工事の今年度工事分延長七〇〇メートル

林道開設事業小畑線林道工事の今年度工事分延長七〇〇メートル市員四メートルを一千三百八十万円で有限会社、近藤組が落札、この程着工しました。

この小畑林道は、国見町、桑折町有北山組合有の山林と小坂地内の山林二百七十余ヘクタールの森林造成と資源開発を図るため昭和四十五年より開設に着手、毎年継続事業として行われており、昨年度までに四〇〇メートルが完成されております。

着工した小畑林道



## 森山、徳江地区排水路工事始まる

滑り川



まもなく着工される滑り川排水路

農業経営の安定と生産性のより高上を計るための、団体営かんがい排水事業、森山、徳江地区排水路工事が始まります。

内容は、一面ブロック舗装二七五メートル、三面鉄筋コンクリート一九二メートル、橋梁落着工三三メートルで計五〇〇メートルです。

工事請負者は福島市の(合)小野工業所、工費は一千七百七十万円、来年の三月末には完成の予定です。

# 火災のない明るい町に

今年も火災の発生しやすい時期を迎えましたが、毎年、火事のた

め莫大な財産と尊い生命が失われていまして。わが町においても四十八年中には建物火災が二件あり、幸いに死傷者は出ませんでした。が、四百九十四万円の貴重な財産が灰になっております。



この世帯から出火した場合は、死亡危険度は極めて高く、その悲報が後を足しません。各消防担当部局と共同で査察を行い火災予防の指導をする予定です。

## 11月26日～12月2日

# 生活の一部にしよう火の点検

## 秋の全国火災予防運動

火災の原因となる要素は、私たちの身のまわりにかくれており、火災原因の大半がちょっとした不注意によって起ります。ひとりひとりの心構えが火災のない明るい町をつくりまします。

今年も火災の発生しやすい時期を迎えましたが、毎年、火事のため莫大な財産と尊い生命が失われていまして。わが町においても四十八年中には建物火災が二件あり、幸いに死傷者は出ませんでした。が、四百九十四万円の貴重な財産が灰になっております。

安全確保

### ○家庭における安全点検

昨年、県内の一般家庭からの出火は三三九件で全体の四五・八%を占めております。この一般家庭からの出火を減少させるため各家庭では次のことを励行しましょう

①暖房器具は安全を確認してから使う  
②老人、幼児、病人は避難しやす

い場所へ寝かせる  
③たばこの投げ捨てや寝たばこのやめる  
④いつも水バケツや消火器を準備しておく

### ○職場等における防火点検

会社、工場、学校など多数の人のいる施設は被害が大きくなるので関係者は次のことを励行しまし

よう。

①喫煙場所を指定する

②火気を使用する場所は常に整理整頓をする

③災害時の通報者、通報ルートを決めておく

④この運動期間中必ず消火設備を使つて訓練をする

⑤災害時の避難経路をもう一度確認しておく

○もし火事になったらまず避難をすること。次いで初期消火に務め、あわてず、はっきり消防署に通報する。大声で叫んで近所の人に知らせ協力してもらい。早期発見であれば消火器などで十分に消火できます。

火災シーマン来る  
そして、「自分の家にかぎつて」と考えないで、常に火事の恐ろしさや、出火の際の心構えなどを、家族で話し合つておくことが大切です。



## 社会を明るくする運動

### 小学生募集作文発表

#### ② 交通事故のない町にするために

四年 小川 由紀

私の家は、国道四号線そばにあります。毎日すこい量の車が、もつれつなスピードで、走っています。

ときどき、「ピーポー ピーポー」とサイレンをならしながら救急車が走っていきま

「あつまた事故だ」

「けが人がたのんだな、たいしたけがでなければ良いなあ」

うしてこんなに交通事故が多いのか、どうして交通事故がなくなかないのかと悲しくなります。

私は、今まで、交通事故をこの目で五、六回見ましたが、そのうちでも、近くにある川に自動車ごとついで乗っていた人が亡くなった事故は、すこいと思

います。また、友だちと遊んでいたら、せきばりに落ちて自動車

場が人がおぼれた事故がすこい現場の様子を忘れることができません。もうこのような事故はたく

さんだ。もう二度とこんな事故はもう一度、あじわつてみたいと思

起こしてもらいたくない。悲しむ人かです。

この二つの事故とも、追いこしをかけそこねたけつこの事故がなくならないで、このような事故がなくなりたいです。ほんとうに残念なことです。

私の家が国道そばにあるので、毎日、国道を横断して通学して

なつた時、急にとびだし横断をしようとして「ハッ」としたことがあつてから、いそぐことはあ

ないけれど、これだから注意しなけ

「せい日本そんなに急いでどこへ行く」という標語があります

「せい日本そんなに急いでどこへ行く」という標語をみんな

「せい日本そんなに急いでどこへ行く」という標語をみんな

「せい日本そんなに急いでどこへ行く」という標語をみんな

おめでとうございませう

昭和50年

成人者188名

昭和29年4月2日～

昭和30年4月1日までに生れた方々

敬称略

この名簿は49年5月1日現在の住民票から調査したものです。

その後の移動、記入もれ、誤字等がありましたら12月13日まで下記に連絡してください  
また町外にいる方で成人式に出席を希望される方も申し出てください。

連絡先 国見町公民館(町民福祉センター)

電話 公2676番

有4156番

成人者氏名	生年月日	住所	敬称略	成人者氏名	生年月日	住所	敬称略
<b>藤田方面</b>							
大野 金男	30. 3. 31	山崎字太子堂43	駅前	斎藤 久子	29. 8. 16	天王畑一24	町東
蓬田 宏子	29. 7. 13	太子堂9の11					石母田東
半沢 由子	30. 1. 9	太子堂6		菊地 良典	29. 8. 16	石母田字国見前40	
石川 浩司	30. 2. 8	北町田3		高野 博子	29. 12. 7	笠松22	
佐藤 幸英	29. 7. 18	太子堂9の6	錦町	菊地 政蔵	30. 3. 3	11	
							石母田表
山崎 芳子	29. 7. 11	藤田字堤下9の3		佐藤 浩子	29. 8. 28	横町8	
佐藤登美子	29. 11. 30	堤下23の9		佐藤由美子	29. 7. 16	18	
佐藤智恵子	29. 11. 30			市川 節子	30. 1. 23	荒町10	
徳江きみ枝	29. 4. 11	堤下22					石母田北
塩沢 孝子	29. 12. 26	堤下20の1		穴戸 京子	29. 6. 23	上ノ山44	
樋口 秀子	29. 10. 27	堤下16の1	大町南	佐々木恵子	29. 4. 24	樋口43	
							石母田原
安達 ミエ子	30. 2. 17	中沢一6		松浦 礼子	29. 8. 30	原26	
渡辺 勝美	29. 4. 2	南2		穴戸 恭子	29. 9. 21	芹沢1	
増田 玲子	29. 12. 18	南70の2		菊地 元子	29. 11. 21	山田11	
斎藤 寿人	30. 1. 1	南72		菊地 文子	29. 11. 21		
岡崎 京子	30. 3. 15	中沢二3		八島さちえ	29. 6. 8	上原41	
本間 次夫	29. 11. 28	中沢一6	大町北	村井 幹穂	29. 8. 29	中ノ内13	
				佐々木栄一	29. 10. 20	中ノ内21	
							石母田西
菅野 義久	29. 8. 13	南21		菊地みや子	29. 8. 29	山口34	
黒田 恵子	29. 12. 19	南60	本町	佐藤 智子	29. 11. 18	割田2	
							山崎北
紺野 紀子	30. 2. 21. 11	南25		高橋 久子	29. 12. 26	山崎字上川前28	
秦 弓子	29. 4. 23	日渡四1					山崎館
八島 幸一	30. 2. 23	日渡四16の3		安藤 人司	29. 5. 2	館東3	
大竹 節子	30. 1. 2	南39					源宗山
幕田満智子	29. 5. 2	藤田一10の3	宮町南	蓬田 郁子	30. 1. 19	南古館5	
				大和田英子	29. 10. 15	南古館4の3	
佐藤 和夫	29. 11. 10	北5		山口 正秋	30. 1. 11	上耕谷15の4	
武田 修一	30. 3. 30	北17					山崎小館
武田 春子	30. 3. 4	北18		吉田 綾子	30. 1. 2	熊野前6の2	
渡辺 孝史	30. 1. 12	北62		中村千代子	29. 10. 24	小館17	
東海林恵子	29. 11. 15	町裏1の1		菅野ヨシ子	29. 7. 20	小館20	
亀岡きぬ子	29. 4. 19	一丁田三7		大庭 和夫	29. 7. 3	沢田22の5	
八巻 恵子	29. 10. 28	一丁田三6の3	宮町北				上野
				渋谷美智子	29. 12. 21	森山字西上野15の4	
高橋 昭二	30. 2. 16	一丁田二1の4		蓬田 吉穂	29. 10. 25	西上野20	
富田久美子	29. 4. 28	一丁田二1の7					西松
穴戸 節子	29. 10. 14	日向一1の2					
遠藤久美枝	29. 5. 19	町裏二32の6		古屋佐和子	29. 5. 23	石母田字下原78	
鈴木 恒憲	30. 2. 24	町裏9の9					
							前田
<b>小坂方面</b>							
渡辺三起子	30. 1. 9	小坂字小坂5	小坂	佐藤 政弘	29. 5. 8	泉田字北ノ内13の2	
斎藤 秀子	30. 1. 26	小坂12		朽木 秀子	29. 5. 17	小坂字前27	
早田 耕之	30. 3. 15	小坂34		大場美代子	29. 10. 17	塚田47	
原田 弘志	29. 12. 16	小坂32	太田川				板橋
				高橋 博子	30. 1. 19	小坂字板橋25	
斎藤 京子	29. 8. 14	上川前3		野村 直人	30. 2. 10	板橋25	
林 郁夫	29. 12. 13	宮五郎内14の3		今野 正美	29. 7. 24	北窪57	
佐藤由美子	29. 10. 29	宮五郎内18		渡辺由起子	29. 12. 18	北窪59の5	
原田恵美子	29. 12. 12	古内2					泉田上
				仲野 京子	30. 2. 10	泉田字笹ノ倉21	
佐藤 紀子	29. 4. 6	泉田字八島2の5	前田	小山 和美	29. 5. 27	持越2	
鴨田みね子	29. 4. 9	小坂字木八丁51の7		小龍 友子	29. 6. 21	堤尻4の7	

成人者氏名	生年月日	住所	泉田上	成人者氏名	生年月日	住所	鳥取
仲野 勝夫	30. 2. 14	持越1の1	泉田中	後藤喜代子	29. 12. 9	鳥取字深田20	内谷西
高鶴 敏子	29. 9. 4	川南39		高野 節子	29. 4. 29	中島14	
佐藤喜久男	30. 3. 11	川南31		赤坂 悦雄	29. 12. 9	内谷字西38	
関口 紀夫	29. 6. 1	川南54		赤坂 信雄	29. 4. 16	西脇7	
仲野きみ子	29. 8. 25	源女9		赤坂 光一	30. 3. 12	西脇43	
仲野さゆり	29. 12. 24	川北60		熊坂 吉一	30. 3. 4	東34	
佐藤うめ子	29. 4. 2	川南67		熊坂 玲子	29. 7. 6	館脇27	
梅谷 純孝	30. 3. 28	初量1		菅野 久夫	29. 7. 13	大橋8	
吉田りよ子	30. 1. 20	普蔵25の5		古内由美子	30. 2. 10	西堂8	
日黒 浩一	29. 5. 11	普蔵42					
渡辺 正子	29. 4. 11	畔田5					
武田 節子	29. 4. 3	石田後23					
阿部 正一	30. 1. 30	寺ノ前14					
森江野方部			第1				第7
佐久間 守	30. 1. 25	森山字滝東46	第2	八巻美起子	29. 12. 1	徳江字沢田41	第8
佐久間隆康	29. 5. 24	宮前7		穴戸 博志	29. 5. 13	神21の5	
樋口 典雄	30. 1. 9	宮前44		徳江美恵子	29. 9. 6	神明18の1	
小野 初子	30. 1. 21	中町12		八巻 光江	29. 6. 5	神明19	
本間トシ子	30. 3. 12	中上野1の1		大波 裕	29. 4. 13	雷神前38	
遠藤タニ子	29. 10. 22	東国見1の2		佐野 洋	30. 3. 1	北畑28	
松浦 次雄	29. 10. 28	下鴨町7		我妻 定栄	30. 1. 20	北畑39	
近野多栄子	29. 11. 11	下鴨町8		蓮田 幸夫	29. 12. 23	前原22	
斎藤 隆	29. 4. 16	中ノ目67		菊地 禎子	29. 12. 12	塚野目字福田2	
佐藤アキ子	29. 11. 29	太田川27		菊地 茂	29. 7. 1	金屋37	
石川 正博	29. 11. 28	壇ノ前8	小島三枝子	29. 9. 20	館前17		
吉田 定夫	30. 1. 24	西新田21の1	佐藤 悦子	30. 3. 6	正法寺4		
石川 利江	30. 1. 10	東新田58	佐久間勝博	30. 2. 14	宮前3		
吉田 和博	30. 3. 3	熊野前4の5	小島 洋子	29. 5. 24	山伏塚9		
斎藤たか子	29. 10. 13	徳江字長館31	徳江北				
大木戸方部			貝田				高城
岡田 正行	29. 8. 31	貝田字松村12の3	大木戸	松浦 文子	29. 4. 5	高城字柴崎24	
大沼みどり	29. 7. 10	神ノ前14		佐藤 啓一	29. 11. 26	石田67	
松田 八郎	29. 9. 5	町裏1		志村 謙一	30. 2. 23	前4	
村上 陽子	30. 3. 5	山ノ神前55		本田 幸子	29. 4. 16	川崎35	
斎藤美喜子	30. 1. 17	山ノ神前37		長谷川和子	30. 2. 28	大木戸字川原21	
高橋 文子	29. 4. 11	山ノ神前49		阿部 和夫	30. 1. 1	五反田36	
松浦 敏子	29. 7. 15	町裏13		阿部 邦雄	29. 4. 4	耕野内20の2	
斎藤 一男	30. 1. 5	町後4		松浦 豊光	30. 3. 15	赤穂34	
斎藤 秀子	29. 6. 9	熊坂14		松浦 祐子	30. 3. 15	赤穂20	
吉田 和男	29. 4. 22	熊坂13		松田 充弘	29. 11. 11	大橋20	
佐藤 幸子	30. 1. 17	百枚大沢2	菊地 正子	30. 3. 23	高城字下家老18の3		
高橋 弘子	29. 10. 7	石畑11の1	浅野美佐子	29. 11. 23	大木戸字六角63		
大沼 啓助	29. 11. 12	道下8の1	高村みつ子	29. 4. 18	明野原2		
星野 正光	30. 1. 15	光明寺字滝ノ下17	吉田 匡彦	29. 11. 11	新田山2の1		
浅谷 貞衛	29. 7. 27	志久12	高村 正博	29. 8. 19	霧原3		
遠藤 久昭	29. 12. 21	浜井場6	阿部美智子	29. 4. 18	富士見平1		
遠藤 邦子	30. 1. 9	沼11	多勢 京子	30. 2. 8	古屋敷18の3		
大枝方部			原町				北部
小林 充	29. 9. 23	西大枝字水雲2	並柳	佐藤 祐一	29. 5. 14	根岸14	
佐藤 誠治	29. 4. 15	中屋敷53		岩城 明	29. 12. 10	川内字柳原28	
松浦美枝子	29. 7. 3	入ノ内前4		斎藤 政俊	29. 8. 1	北川原4	
新井 文英	29. 6. 17	古館35		鈴木 憲子	30. 1. 1	内上18	
佐藤 弘利	29. 12. 3	北谷地3		斎藤 裕子	29. 5. 19	内上20	
斎藤 広勝	29. 12. 21	五壇前12の2		鈴木 礼子	29. 9. 18	三百地37の2	
玉手 正子	29. 8. 24	窪30の3		鈴木 春子	29. 4. 4	内上40	
瀬戸 祥一	29. 5. 17	熊野堂37		鈴木 周一	29. 5. 30	沖9	
				鈴木 嘉代	29. 5. 14	内上35	

# 「若人の翼」に参加して

昭和四十九年度、福島県青少年海外派遣団「若人の翼」の一員として、当町から小坂の高原市太郎さんが参加しました。

これは、国際的な視野を養うとともに、地域社会、職場、青少年団体、グループ等各方面で活躍できる青年育成のため県が実施しているもので、百名が、西ドイツ、スイス、フランス方面へ派遣されました。

ここに、その高原さんの報告記を掲載いたします。

## 質素で合理主義の西ドイツ

高原市太郎

九月十五日から二十八日まで、西ドイツ、スイスに行つて来ました。

西ドイツに入国して驚いたのが町がきれいで、ゴミやタバコの吸殻などは落ちておらず、窓辺には花が飾られ、一層美しさを引き立っています。

西ドイツ人は、個人主義的な国民で、自慢するのが好きな国民です。日本について知っていることは「地図の右上にある国で、この程度の知識しか持っていません」

また、民泊を通じて、西ドイツの市民生活は、質素堅実、合理主義で、生活水準の高いのに驚きます。それは、生活物資だけでなく、子どもの教育の厳しさと、夫婦の余暇の使い方にも言えます。それに、生活と切り離せないのが宗教です。宗教が社会生活の中に深く入り、社会の秩序維持や、人との結び付きに宗教の果たす役割が大きいので



折りました。

外国から日本を振り返って見て日本人は、ぜいたくで浪費人だと思えます。西ドイツの家庭には、百年以上も過ぎた机、椅子、食器が今も尚使われています。そして食事についても質素である。

それに、ベルリンの壁に象徴される様な、規制された自由を知らないのが、現在の日本だと思えます。もし、日本で自分の自由を規制するのがあるならば、それは自分だけだと思えます。

最後に、今回の海外研修に参加して得たことや知識の確認をしたことを、地域の一青年として、可能性を常に生み出す、情熱を絶やさず仲間作りをして行きたいと思えます。

## 郵便局だより

郵政大臣から米寿祝

郵政省では、毎年米寿を迎えられたお年寄りの方々へ記念品を贈って長寿をお祝いしております。

今年も、徳江ホノさんほか八名の方に、藤田郵便局長がそれぞれの自宅を訪問し大臣の手紙をそえて「湯のみ」をおとけしました。

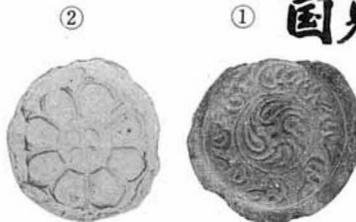
そして、公共事業として役立つ方のおかけですと感謝の意を表します。ますます元気で長生きされることを祈りました。

## 国見史跡めぐり

題字は佐藤町長

⑨

### 徳江廃寺をめぐって



国見町徳江にある徳江廃寺は、先年二回にわたって地域の多くの人々の協力のもとに発掘調査されたが、建物の規模などがよく知ることが出来ず大変残念であった。

しかし、この調査の結果から、今まで知ることの出来なかつた成果があつた。以前は、徳江廃寺と腰浜・西原両廃寺との関係がわからなかつたが、これら三廃寺の前後関係及びその影響のされかたなどを知る事が出来たことである。

徳江廃寺からは、腰浜・西原両廃寺から出土した瓦と同じものが出土し、①は腰浜廃寺出土のものと同じであり、②は西原廃寺出土のものと同じである。

腰浜廃寺は、平安時代初期の七〇〇年代末頃に創建され、西原はこれよりいく分おくれで創建され徳江はさらにいく分おくれで創建されたのではないかとわかれていて、腰浜と徳江の時間的な差はせいぜい四、五〇年ぐらいではないかということである。

県北地方には古代の寺院跡が三カ所知られている。腰浜廃寺、西原廃寺(以上福島市)徳江廃寺がそれである。西原廃寺は発掘調査の結果建物の規模などがよく知ることが出来、現在史跡公園として公開されている。腰浜廃寺も発掘調査されたが、建物の規模などは知ることが出来なかつた。

徳江廃寺は二〇〇〇年頃に火災に遭つていようであるが、現観音寺に伝えられている縁起によると、この後も大寺院として存在した。今後は、徳江廃寺の建物の規模などを調査することが出来たらよいがと考えられる。

# 清掃の奉仕作業

## 町のボーイスカウト隊員

十月二十一日、町のボーイスカウト(団委員長、曳地一)の隊員が早朝からほうきをもつて集合、町道(旧国道)や藤田の鹿島神社境内などの清掃奉仕作業を行いました。

この奉仕作業は、町のボーイスカウトが昭和四十三年発団以来、鹿島神社祭礼の翌朝、自主的に毎年続けて行っているもので、町内の人から感謝されています。



## 有利なたばこ作り

—あなたも作ってみませんか—

最近におけるたばこの耕作は、従前におけるたばこの耕作は、面買入れ価格もぐんとよくなり大変有利となりました。

昨年一反歩当りの収入は県平均で三十万円、最高五十万円でしたが、今年も買入れ価格が引き上げられ、今年も買入れ価格に比べて益々有利になってきました。

そこで明年からのたばこ耕作をお勧めします。くわしいことは役場産業課におたずねください。

## 国見町文化祭 いまたけなわ

九月二十九日、FMC混声合唱団の来演がわきまに、国見町の文化祭が催されております。

十一月三日、四日に行われた展示会には、絵画、書道、写真、俳句、俳画、盆栽、生花、手芸、彫刻やお家の宝と称される文化財など小・中学生から高令者に至る各階層から作品、数千点が町民体育館いっぱいに表示されました。会場は終始参観の人達でにぎわい町民の文化の高さと深い熱意が感じられました。

## サラリーマンと税金

サラリーマンの所得税は、一年間に支給された給料やボーナスの収入金額から、給与所得控除額を差し引いて所得を算出し、これから基礎控除、配偶者控除、扶養控除等の所得控除を差し引いた課税所得に税率を掛けて算出します。

所得税は、給料やボーナスの支給の際に源泉徴収されますが、これはあくまでも予定の計算によるので、ペーシングアップや賞与の支払い、扶養親族の異動等、一年間の確定税額との間に差が生じるため、その年最後の給与が支払われる際に年末調整が行われます。



文化祭展示会場風景

## こよみ



11月(しもつき)

- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日・小雪
- 26日 全国大気予防運動始まる
- 28日 税関記念日
- 12月(しむす)
- 1日 歳末助け合い運動始まる
- 4日 人権週間
- 7日 大雪
- 8日 針供養

[メモ]

ことしの大雪(たいせつ)は12月7日です。このこのの大雪は定まらず、時には大雪(おたゆみ)に見舞われることから付けられたものでしょうか。「大雪」というのは、1年で24の節氣におけ立春から数えて21番目の氣にあたるものです。そしてこのあと「冬至」と「小寒」「大雪」とつづいていきます。

## フルーフ ⑤ 紹介



### 満六歳の明治学級

変貌する社会に適應する老人の生き方を学ぼうと、町内の老人たちが集まり、吉岡隆一先生の話をお願いしたのが六年前の四十二年十二月二十三日、その後寒暑船着といわず、農繁期といわず、毎月必ず一〜二回は集まり、根気よく学習を続けています。しかも毎回少くとも百名、多いときは百七、八十名の出席があるという。

テーマを見ると、長生きの秘訣、老人の役割と生きがい、愛される老人になるためにといった老人問題、交通安全、公明選挙、新築の豊富さと経費の低廉さをもつて喜ばれているようである。

講師には、町役場、学校、農協、病院、工場等の役職員をはじめ、佐藤肇、長谷川潔、田村操、岡崎豊城、永井文心等福島伊達地方きつての名講師、それに中央から蓮田、牛尾、釜津の三医師も招へいするといふ豪華さ、これではみなな魅力を感じるのが当然である。場所が初め、学校、役場、農協病院、工場等をめぐってやつたものだが、その後福祉センターができるのに及び主としてこれを使うことにしている。しかし百名以上で老人子どもまで手はずを感じたがたに講話を使っている。特に老人たちに喜ばれている行事に「あおぞら教室」と称する社会見学がある。福島市内見学、信夫の里めぐり、白河、郡山の旅、あぶくま満見学、最近では、去る十月二十八日の仙台多賀城方面の旅などは日帰りコース、いわき、気仙沼、米沢の旅などは一泊コース、十和田、男鹿、田沢湖めぐりは二泊三日のコース、いずれも内容の豊富さと経費の低廉さをもつて喜ばれているようである。

登録者は現在四百五十名ぐらいいまわっており、常時出席は前記のとおり百五十名前後である。

委員長長藤田一怡、副委員長藤田勝衛、会計小野寺省二、それに各部落に連絡委員、合わせて五十名がいます。

# おしらせ



## 婦人ガン検診

■十二月二十一日、午前九時三十分から十一時まで、福祉センターにおいて、婦人ガン検診を行います。希望者は十二月十四日までに役場保健係まで申し込んでください。(公)2111(有)4161  
なお、費用は一人三百円です。

## 乳児検診

■乳児検診を次の日程で行います。該当者は、昭和四十八年十一月一日から昭和四十九年十月三十一日まで生まれた乳児です。  
なお、時間はいずれも午後一時十五分から四十五分までです。

月日	地区	場所
十二月二日	藤江野	大枝藤江野小礼法室
三日	小坂	小坂小集會室
四日	藤田	福祉センター
五日	大木	戸大木戸小理科室
六日		

## 年末調整説明会

■福島税務署では、給与支払者を対象として、年末調整説明会を開催いたします。

これは、年末調整が正しく行われるよう、改正点など、ことしの年末調整方法等について説明するもので、源泉徴収義務者(給与支払者)は、もれなく出席してください。

なお、期日 および場所は次のとおりです。

◇日時 十二月三日

午後一時三十分より

◇場所 桑折町福祉センター

◇対象 桑折、国見、伊達

## 人権相談所を開設

■つぎのとおり人権相談所を開設いたします。ごまじりごと、もめごと、なやみごとをお持ちの方は、お気がるにおいでください。相談は弁護士、人権擁護委員、法務局職員が担当して、個別にうかがい内容はすべて秘密にします。  
〇とき 十二月九日(月)  
〇ところ 町民福祉センター  
〇時間 午前十時～午後三時

人権擁護委員

佐藤 善次郎  
佐久間 岩吉

## 歳末助け合い運動

■今年も年の瀬を迎え、十二月一日から歳末助け合い運動が全国一斉にくりひろげられています。暗い生活にあえぎ、ともすれば今後の生きることにくじけているかもしれない交通遺児家庭や、病氣、貧困に苦しむ人たちに少しでも明るいお正月を迎えていただくために、みなさんの暖かいご協力をお願いします。

善意ありがとつございました

■このほど、大字藤田字沢田三、

## おわびと訂正

十三番地、古内正衛さんより、交通安全のため役立ててほしいと、十万円寄付をいただきました。町では、この善意に深く感謝し有効に使わせていただきます。

■十月十五日付広報くにもの「おくやみ申し上げました」の中で、渋谷忠俊さんの年令七十九歳とあるのは、二十一歳の誤りでした。つ

## おめでとつございませう

十月廿二日届けられた人 敬啓

父の氏名	子の名	部 落
佐久間忠男	明子	第二
三浦 寛	徹也	光明寺
中村昭次郎	正利	大町南
野村元次郎	秋子	板橋
小宮伊勢雄	美智子	町東
大木 守	悟	鳥取
林 守	進	
佐々木芳夫	茂夫	石母田西
斎藤弘雄	恵	貝田
佐藤利光	満和子	
今野芳雄	明子	源香山
古内和雄	宏	前田
嶋田一男	信子	内容西
葵喜一郎	綾子	大町北
高橋 勇	美代子	小坂
斎藤敬一	育津美	徳江北
須賀徳二	孝志	第二

## おくやみ申し上げます

(十月廿二日届けられた人 敬啓)

氏 名	年 令	部 落
遠藤 ナチ	91	光明寺
菊地 キン	81	石母田原
高橋 洋一	10	滝山
安部 芳雄	66	第三
吉田 一雄	71	小館
阿部 喜平	93	町東
古内 ミツ	73	大町南
高橋 長七	65	山崎北

## 編集日記

ワしぐれがためたく落葉にしみ、じゃ口を乾す水の冷たさ、季節は晩秋から初冬へと移つていきます。ついでに冬を迎える準備はできませうか。すき間風の点検や緑の下の整理、雨どいなどの掃除は早めにすませておきましょう。

## 今月の納税

固定資産税 第四期  
伊達西根壇土地改良区費 (後期)